

コシヒカリ1等米生産を目指し、 田植えの繰下げ(5/15頃中心)を徹底しましょう！

これからは気温が高くなる時期です。育苗ハウスは十分換気を行い、がっちり苗に仕上げましょう。基肥量は、土壌条件に応じた**施肥基準**となるよう調整しましょう。高温化に伴い、代かき後の雑草の発生が早くなっています。除草剤は**遅れず**に散布しましょう。

1. 硬化期の育苗管理

- 日中のハウス内温度は25以下を目安にする。
(特に晴天日の温度上昇は激しいので、ハウス内温度が上がり始める前に換気を始める)。
- かん水は、床土の乾きに応じ、的確に行う。
(育苗培土の種類により乾き具合が異なるので注意)
- 田植7~10日前からは、夜間もハウスを開け外気にならす。

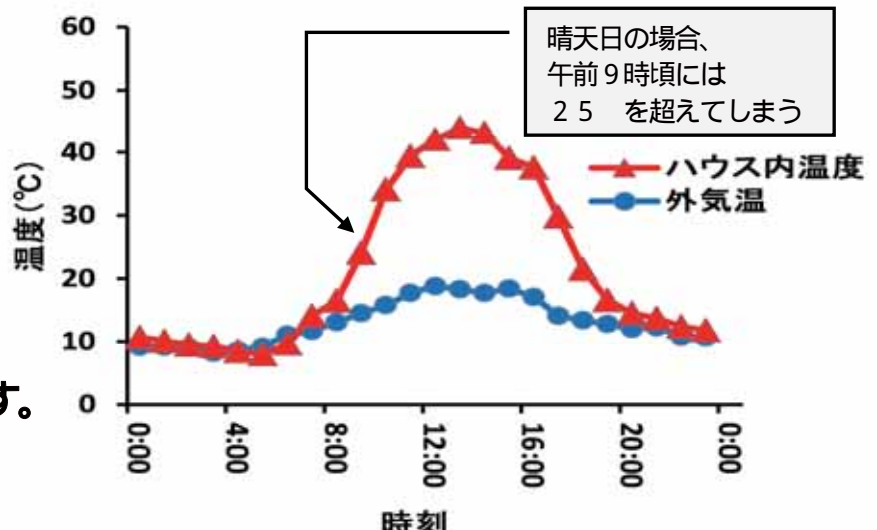


図 晴天日の外気温とハウス内温度の推移

2. 本田準備

ヒエ等の雑草の発生を抑えるため、代かきは田植予定日の3~5日前に実施する。代かきは少なめの水で行い、稲わら等の埋没に努める。また、濁り水は用水へ流さない。

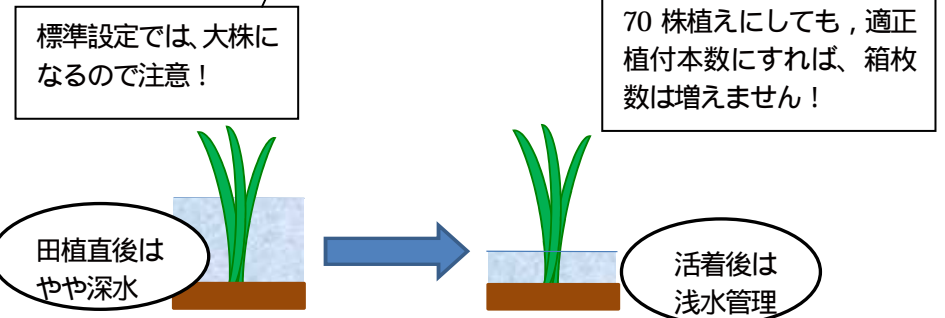
3. 田植と水管理

栽植密度は70株/坪、植付本数は3~4本/株。植付深さは3cm程度(第1葉がみえる程度)とする。田植直後は水没しない程度のやや深水、活着後は田面が露出しない程度の浅水とし、早朝入水・昼間止水で田水温が高くなるように努める。
<基肥の施用>
 基肥量は、土壌に応じた施肥基準を遵守する。具体的な施肥量は、地域ごとの施肥設計をご覧ください。

表 苗の掻取量と栽植密度及び使用苗箱数の関係

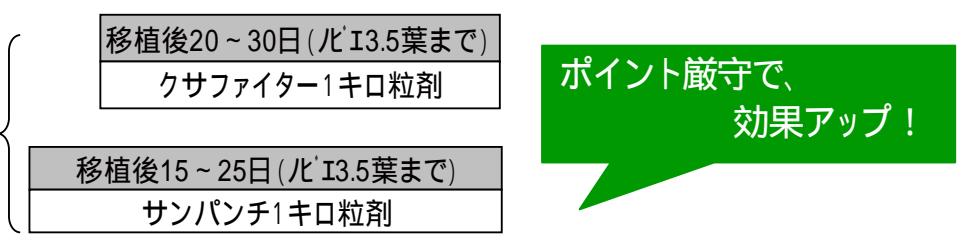
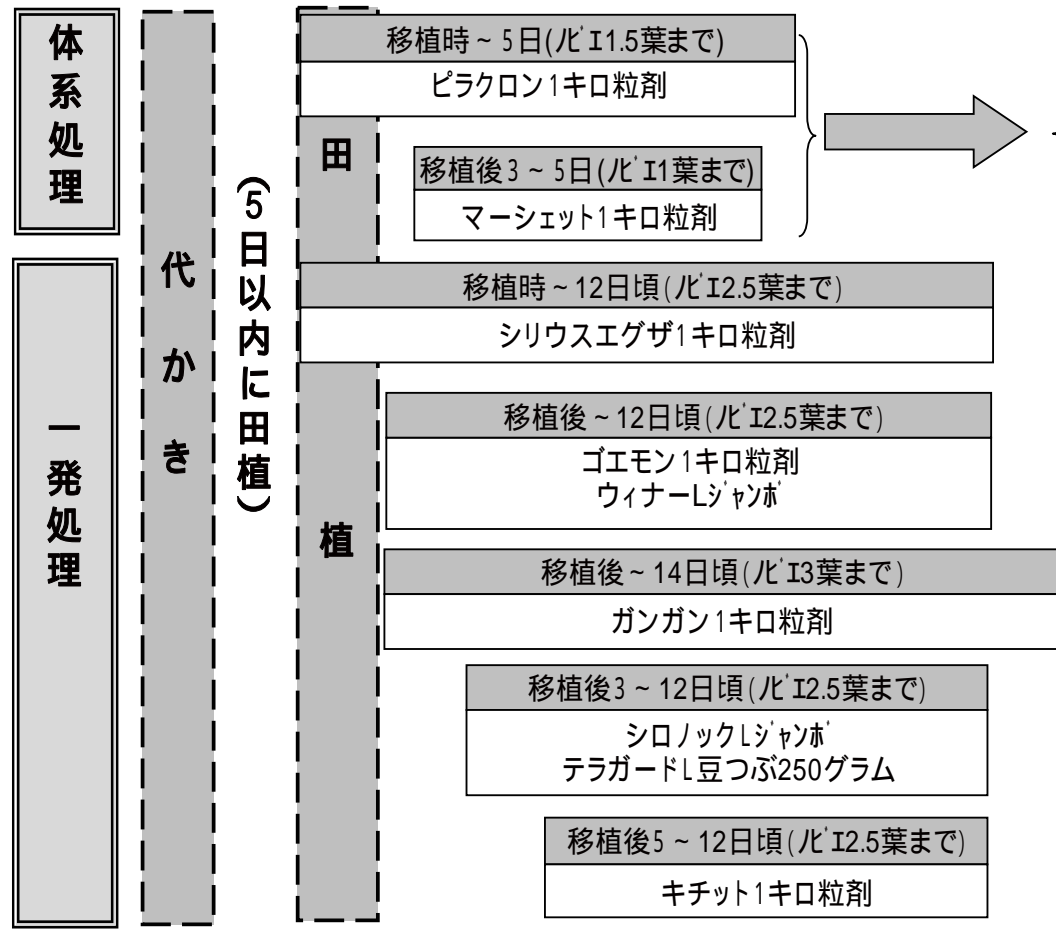
	掻取量	平均植付本数	使用苗箱数
70株植え	やや少なめ	3.6本/株	20枚/10a
60株植え	標準	4.6本/株	20枚/10a

注) 横送り回数は24回(11.6mm)で固定



4. 除草剤の散布

効果を高めるため、散布後5~7日間は湛水状態を保ち、散布後1週間は落水・かけ流しをしない。



田植同時施肥機の開度は必ず確認しよう！

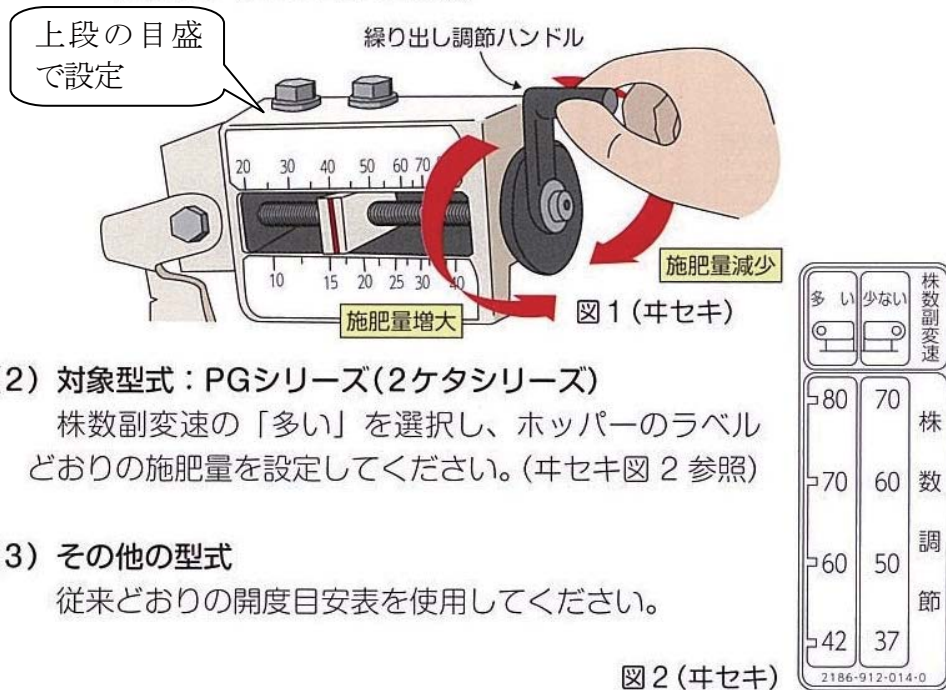
肥効調節型肥料（基肥一発肥料）は、通常の肥料に比べ比重が小さく、粒径が大きいため、田植機の既存の目安表で調整しても、設定量どおりに肥料が施用されないため、次のとおり開度調整をして下さい。

特に、田植作業の最初の田では品種に応じた肥料の使用量と田面積から、施用量を算出し、予定通りの基肥が入っているか確認しましょう。

メーカー別、代表的な機種の設定方法

1. 井関

- (1) 対象型式：PZシリーズ(2ケタシリーズ)*施肥タンクに「PZ」のシールあり
 ア. 株間副変速レバーが「標準」になっているか確認ください。
 イ. 施肥量調節ダイヤルを目標施肥量より約20%大きく設定してください。(中セキ図1参照)



- (2) 対象型式：PGシリーズ(2ケタシリーズ)
 株数副変速の「多い」を選択し、ホッパーのラベルどおりの施肥量を設定してください。(中セキ図2参照)

- (3) その他の型式
 従来どおりの開度目安表を使用してください。

図2 (中セキ)

2. クボタ

- (1) 対象型式：EPシリーズ

比重調整ノブで区分(比重)小を選択し、次に施肥量調量ノブで目安表に対して目標の施肥量位置に針がくるよう調節します。(クボタ図1参照)

●肥料の比重区分表

10回転 繰出し量 (g)	~359	360~420	421~
使用目盛	区分 (比重) 小	区分 (比重) 標準	区分 (比重) 大

(目安ラベル)

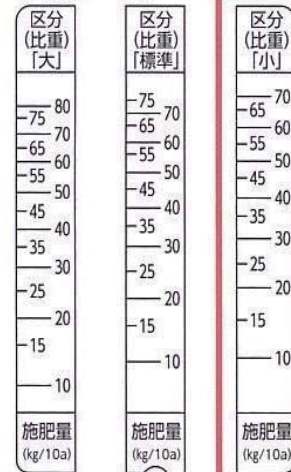


図1 (クボタ)

- (2) その他の型式
 従来どおりの開度目安表を使用してください。

3. ヤンマー

- (1) 対象型式：RJ-4、RJ-5、RJ-6

RG-5、RG-6、RG-7、RG-8

調量ダイヤルを目標施肥量より約10%大きく設定してください。

- (2) その他の型式
 従来どおりの開度目安表を使用してください。

<注意事項>

- この開度はあくまで目安を示したもので、実際に施肥作業をおこない、落下量を確認して、必要な場合には再調整をしてください。
- 一発肥料の中でも有機入り銘柄については比重が小さいので、開度調整に注意してください。
- 対象型式以外には使用しないでください。

※資料出所：富山県JAグループ・全農富山県本部「水稻一発肥料 肥効調節型肥料 ハンドブック」より

春の農作業安全運動展開中！

「一人一人の安全意識の向上で事故防止」

平成28年3月1日～5月31日まで

田植作業時は、滑り止めのついた長靴を履き、
 足元の泥はこまめに拭いて、転落や転倒に注意しましょう。

